

環境保全効果

～どれだけ環境負荷が削減できたの？～

宝酒造の環境負荷には、生産工程での燃料、電気の使用や、排出物流でのCO₂の排出などがあります。この表では、設備投資や削減活動による努力によって環境負荷をどれだけ減らせたかをご報告します。なお、緑字決算では、“地球とのやりとり”を考慮して「総量」での比較を行っており、報告目的により区分しています。

(集計範囲:宝酒造単体 対象期間:2007年4月1日～2008年3月31日 基準年:2006年度)

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2006年 原単位	2007年 原単位	単位	2006年度 実績	2007年度 実績	単位	環境保全効果※ (2006年対比)
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	燃料使用量	3,706	3,671	MJ/kl	1,323	1,230	GJ	12.4 GJ
	電気使用量	137	147	kWh/kl	48,948	49,228	千kWh	▲ 3,262 千kWh
	用水使用量	13.9	14.0	m ³ /kl	4,977	4,692	千m ³	▲18.2 千m ³
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	生産に伴うCO ₂ 排出量	265	258	kg-CO ₂ /kl	94,538	86,534	t-CO ₂	2244 t-CO ₂
	物流に伴うCO ₂ 排出量	51.6	38.3	kg-CO ₂ /kl	18,422	12,846	t-CO ₂	4454 t-CO ₂
	廃棄物総排出量	15.7	14	kg/kl	5,605	4,838	t	426 t
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	環境配慮製品の販売量	75	71	l/kl	26,913	23,804	kl	▲1469 kl
その他の環境保全効果	事務活動電気使用量	6.17	6.84	kWh/kl	2,203	2,291	千kWh	▲222 千kWh
	コピー用紙使用量	26.1	26.5	枚/kl	9,303	8,895	千枚	158 千枚

※環境保全効果＝2006年の環境負荷量×(2007年生産量÷2006年生産量)－2007年環境負荷量

2007年生産量:335,121kl 2006年生産量:356,862kl

環境保全対策に伴う経済効果

～どれだけコストダウンや収益がでたの？～

環境活動の主目的は環境負荷低減です。しかし二次的効果として管理費の削減やエコプロダクツを採用することによるコストダウン・販売促進効果などがあります。ただし、社会貢献活動やPR活動などによる販売効果は原因をはっきりと断定することができず、数字に表すのは困難なため計上していません。

(集計範囲:宝酒造単体 対象期間:2007年4月1日～2008年3月31日 単位:千円)

効果の内容		金額	備考
収益	生産部門のリサイクルにより得られた収入	72,683	
費用節減	事務部門の省エネルギー活動によるコストダウン	-1,760	前年実績からの削減率:1kwh 20円で計算
	事務部門のコピー用紙削減活動によるコストダウン	245	前年実績からの削減率:1箱(2,500枚入り)1,500円で計算
	全社の事務用品の総購入金額削減活動によるコストダ	649	前年実績からの削減金額